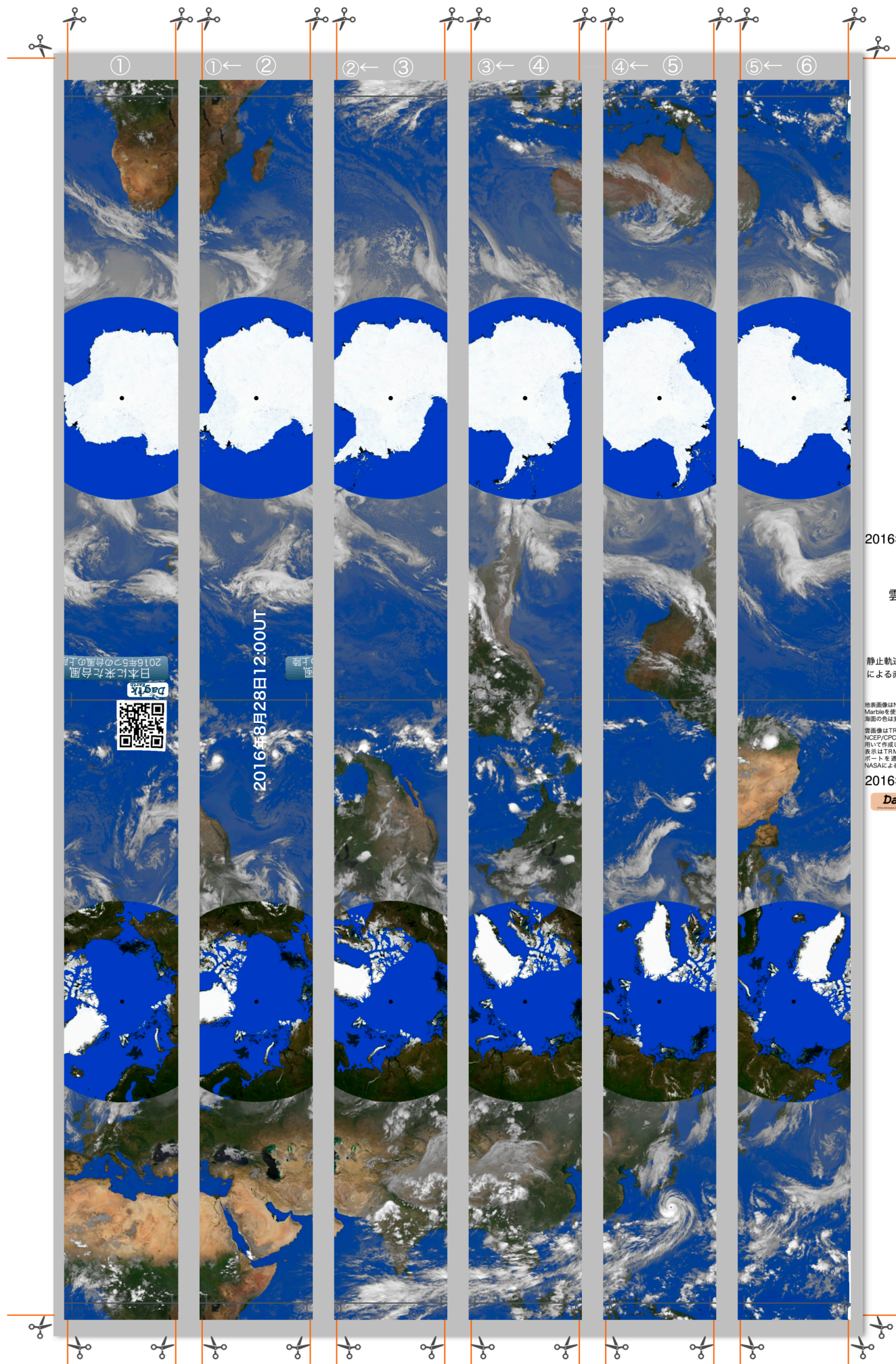




2016年08月28日12:00

雲の分布

静止軌道の気象衛星
による赤外線観測

地表画像はNASAのBlue
Marbleを使用しています。
海面の色は変更してあります。

雲画像はTRMMプロジェクトによる
NCEP/CPC 4km Global IRデータを用いて作成しています。このデータの
表示はTRMMプロジェクトへのサ
ポートを通じてNOAA GPCPと
NASAによる協力を受けています。

2016年08月28日12:00

Dagik



<http://earth.dagik.org>

日本にきた台風: 2016年5つの台風の上陸: 2016年8月28日12:00UT

2016年8月後半から9月初めにかけて、7号、9号、10号、11号、12号と5つの台風が日本に上陸しました。

データ: NCEP/CPC による 4km Global IR データ。このデータの表示はTRMMプロジェクトへのサポートを通じてNOAA GPCPとNASAによる援助を受けています。

データ提供: NOAA / National Centers for Environmental Prediction (NCEP) / Climate Prediction Center (CPC) http://www.cpc.ncep.noaa.gov/products/global_precip/html/wpage.merged_IR.shtml

データ画像作成: Dagik Team

地表画像: NASA Blue Marble: Next Generation (MODISによって撮影された地表画像)。海の色は変更してあります。

地表画像作成: Reto Stockli (NASA Goddard Space Flight Center)

地表画像提供: NASA Earth Observatory <http://earthobservatory.nasa.gov/Features/BlueMarble/>

コンテンツ説明: <http://dagik.org/A/1/10/>

手作り地球儀の作り方: 帯型シート (直径 7.5cm)

準備するもの

- 直径 7.5cm の球 (ガチャガチャカプセルや発泡スチロール球など)
- 印刷する紙 (再剥離タイプのノーカットラベルシートがお勧め)
- カラープリンター (インクジェット式の方が色が剥がれずにきれいに作れます)
- カッターと定規 (あるいはハサミでも)
- スプーンなど硬いもの (貼り付けた後で、シワを伸ばすのに使います)

必要に応じて:

- のり (ラベルシートではなく普通紙に印刷する場合は必要)
- 磁石や重り (ガチャガチャカプセルの場合はカプセルの中に磁石や重りを入れられます。発泡スチロール球の場合は、穴を開けて埋め込むことができます。)

(印刷する)

- (1) 拡大縮小をせずに **100% のサイズで印刷** します。(画像が印刷されている帯の両端付近の線の間の長さが **23.5cm** くらいに印刷されます。)

(切る)

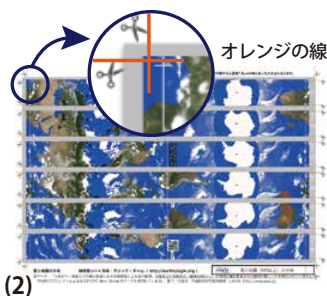
- (2) **オレンジの線** (灰色と画像の境界ではなく) でまっすぐに切り取り、6本の帯にします。

(貼る)

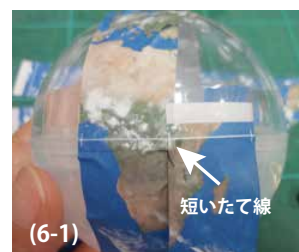
- (3) **数字の順番**に貼ります。まずは①の帯を貼りましょう。
- (4) カプセル球の線と、型紙の赤道の線を合わせて貼ります。数字が書いてある所を下に重ねよう、南極等の・マーク(黒点)も目印にしながら貼ります。
- (5) 球を両手で軽く握り、紙①をなじませます。
- (6) 次の②の帯を①の右側に貼ります。向きに注意してください。少しずつ重なるようになっていきますので、赤道の短いたて線マークを重ねてください。
- (7) あとは同じように繰り返し線や画像ができるだけずれないように重ねて貼り合わせましょう。

(シワを伸ばす)

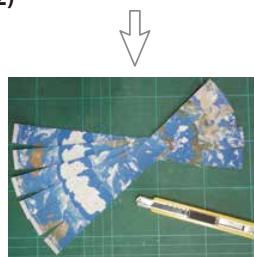
- (8) 貼り付けた帯がよれて、シワになっている部分を、スプーンの背中(丸い方)でこすって伸ばし、平らにしてください。全ての帯を貼ってからこすっても良いですし、1枚の帯を貼るごとにこすっても良いです。



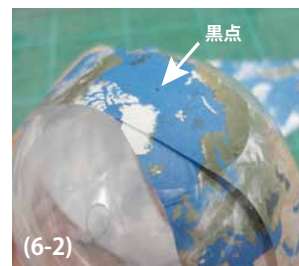
(2)



(6-1)



(3)



(6-2)



(4)



(7)